



令和6年度 福島県立二本松実業高等学校【安達東校舎】 学校経営・運営ビジョン

～夢をかたちに～

本校安達東校舎は、総合学科の特色を生かして学びの幅を広げるとともに、生徒一人一人の学びたいニーズを大切に希望進路の実現を目指します。

郷土を愛し、社会に貢献できる人財（財は宝を意味します）を育成するため、家庭や地域と連携・協働した教育活動やきめ細かな教育を展開します。

希望進路の実現に向け、教職員が一丸となり、チーム学校で取り組んでまいります。

校長 川島 孝夫

【校訓】『創造・協調・責任』

創造性豊かで地域産業の中核となる人財の育成

- 創造・・・新しいものを生み出すこと、自分を創ること
- 協調・・・思いやりを持って互いに力を合わせ、助け合うこと
- 責任・・・なすべきことをきちんと自覚し、最後までやり遂げること

【教育目標】

- ① 創造力と実践力を併せ持つ自立した人間の育成
- ② 心身ともに健康で調和のとれた人間の育成
- ③ 地域文化を尊重し、社会に貢献する人間の育成

【生徒の目標】

- 1 創意工夫を凝らし、新しいものを創造できる人間になろう
- 2 夢の実現に向けて主体的に考え、行動できる人間になろう
- 3 心身ともに健康で、思いやりのある人間になろう
- 4 礼節を重んじ、真理と正義を愛する人間になろう
- 5 郷土を愛し、社会に貢献できる人間になろう

今年度の重点目標

目標Ⅰ：学力の向上

1 基礎学力の定着

- 分かる授業ときめ細かな指導で学ぶ意欲を高めます。
- 社会とのつながりを持たせた授業や、教科横断的な授業を通して分かる授業を行います。
- 繰り返しの指導により、基礎学力の定着を図ります。
- 朝の読書を行い、読書習慣と読解力を育みます。

2 教科指導の充実

- 授業を大切に、きめ細かな指導により、一人一人の学力を伸ばします。
- SDGsの視点に立った探究的な学びを推進します。
- 互見授業やICTの活用を通して、授業力を向上させ、アクティブラーニングの視点での授業改善を図ります。
- 授業力の向上のため、研修に積極的に参加します。
- 資格取得を推進し、学ぶ意欲を高めます。

目標Ⅱ：社会性の育成

1 健全な心と身体の育成

- 生徒自らが心と体の健康を考え、自己管理できるよう指導するとともに、基本的な生活習慣を確立します。
- 社会に通用する身だしなみやあいさつができるように指導します。
- いじめ見逃しをなくするとともに、早期発見・早期対応に努めます。
- 教育活動全体で命を大切にする教育に取り組みます。
- 事故のない安全・安心な学校生活づくりに努めます。
- 公衆衛生意識を高め、健康の保持・増進に努めます。
- 特別支援教育体制の機能充実を図ります。

2 自己有用感・自己肯定感の育成

- 学校行事や生徒会行事の場を生かし、主体的な活動を通して、協働する心や自己有用感を育みます。
- 積極的な部活動を奨励し、部活動の活性化を図ります。
- 自己表現できる場を設け、自己肯定感を育みます。

3 環境美化活動の推進

- 毎日の清掃活動を充実させ、美化意識の向上に努め、校舎内外の環境美化と整備を行います。

目標Ⅲ：希望進路の実現

1 キャリア教育の充実

- 総合学科の特色である「総合的な探究の時間」等の授業を通して、職場見学、職場体験、上級学校見学などを計画的に実施し、キャリア教育の充実にも努めます。
- 個に応じた進路指導により、就職・進学試験に対応できる力を養成します。
- 資格取得に向けての学習を支援します。
- 社会人講話等を通して、望ましい職業観を育みます。

2 希望進路の実現

- <就職>
 - 関係機関との連携を密にし、就職先確保に努めます。
 - 職場見学や面接指導等による個別指導の充実を図り、希望進路の実現を目指します。
- <進学>
 - 学校説明会等への積極的な参加を促し、早期から進学意識の向上を図ります。
 - 課外授業や面接指導等による個別指導の充実を図り、希望進路の実現を目指します。

目標Ⅳ：地域との連携

1 情報発信の充実

- 学校ホームページやnote、PTA新聞などにより、保護者・地域へ積極的に広報活動を行います。
- 学校評議員会を通して、積極的な情報発信をするとともに、説明責任を果たします。
- 本校ならではの学習成果物を展示・販売し、特色ある実習内容を地域に発信します。

2 家庭・地域との連携

- 「学校へ行く週間」など、保護者・地域に向け授業を公開します。
- 父母と教師の会が主催する各集会への参加者を増やし、家庭との連携をより一層深めます。

3 ボランティア活動の推進

- 地域との連携を深めながら、様々な活動を通して豊かな心を育成します。
- 地域との交流を大切にし、学習の成果を地域社会への貢献につなげます。